人文学部　　前期日程

令和７年度入学試験問題

総合問題

注意事項

1．この問題冊子は試験開始の合図があるまで開いてはいけません。

2．この冊子は全部で16ページあります。

3．Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ の全４問に解答してください。

4．それぞれの問題について解答用紙が配布してあります。この他に下書用紙も配布してあります。解答用紙には受験番号を記入する欄がありますが，下書用紙にはありません。間違えないようにしてください。

5．受験番号は解答用紙の指定された箇所に記入してください。決して氏名を書いてはいけません。

6．算用数字とアルファベットは解答用紙の１マスに最大２文字まで書くことができます。

7．試験終了後，解答用紙を回収します。

8．問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。

Ⅰ 次の文章を読んで，設問に答えなさい。(配点 100 点)

(Festivals Criticized over Treatment of Animals, The Japan News,
https://japannews.yomiuri.co.jp/society/general-news/20231217-155674/ より。改変あり。)

語注

*Ageuma Shinji　上げ馬神事
*Tado shrine　多度大社
*intangible folk cultural property　無形民俗文化財
*board of education　教育委員会
*Itoman Hare　糸満ハーレー
*nonprofit organization　非営利団体
*Animal Rights Center　アニマルライツセンター(動物愛護団体)
*Soma Nomaoi　相馬野馬追

問1　下線部(1)がどのような行事か，本文の内容に基づき150字以内で説明しなさい。(配点30点)

問2　下線部(2)がどのような行事か説明したうえで，これについての相反する二つの意見を本文の内容に基づき200字以内でまとめなさい。(配点40点)

問3　下線部(3)の例として相馬野馬追が挙げられる理由を本文の内容に基づき100字以内で説明しなさい。(配点30点)

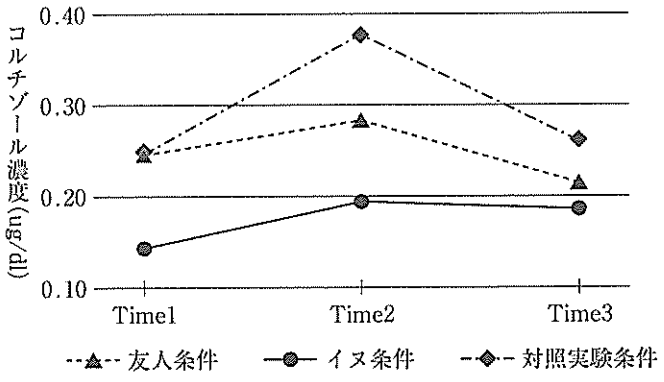
Ⅱ ペットの存在とストレスに関する次の文章を読んで，設問に答えなさい。(配点 80 点)

イヌやネコなどの伴侶動物の力を借りて，人の精神的あるいは肉体的な健康状態を向上させるために実施される補完医療の一種を動物介在療法(animal-assisted therapy)という。

図1は，ペットとしてのイヌの存在が人のストレス軽減に与える影響について検討した実験の結果である。この実験では，48 人の参加者がまず 40 分間リラックスして部屋で待つよう指示された(Time1)。その際，この 48 人を無作為に 3 つの条件(友人条件，イヌ条件，対照実験条件)に割り当てた。友人条件では，親しい同性友人が実験に同行し，一緒に会話を楽しんでもらい，イヌ条件はセラピードッグである 7 歳のメスのゴールデンレトリバーと一緒に待ち，話しかけたり，撫でたりしてもらった。対照実験条件は，一人で静かに座って待ってもらった。40 分後，参加者はストレスのかかる課題(5 分間の面接スピーチや引き算課題)を行った(Time2)。その後，参加者は別の部屋に行きリラックスした状態で 30 分座って待ち(Time3)，実験を終了した。

実験の各段階(Time1～3)では，コルチゾールといわれるホルモンの量を測定し，ストレスの程度の指標とした。コルチゾールは，ストレスを受けたときに脳からの刺激を受けて分泌が増える性質があり，「ストレスホルモン」とも呼ばれている。Time1 から Time3 までの平均コルチゾール濃度は，友人条件 0.251(ug/dl)，イヌ条件 0.180(ug/dl)，対照実験条件 0.296(ug/dl)であり，イヌ条件が他の条件よりもストレスが少ないことが示された。

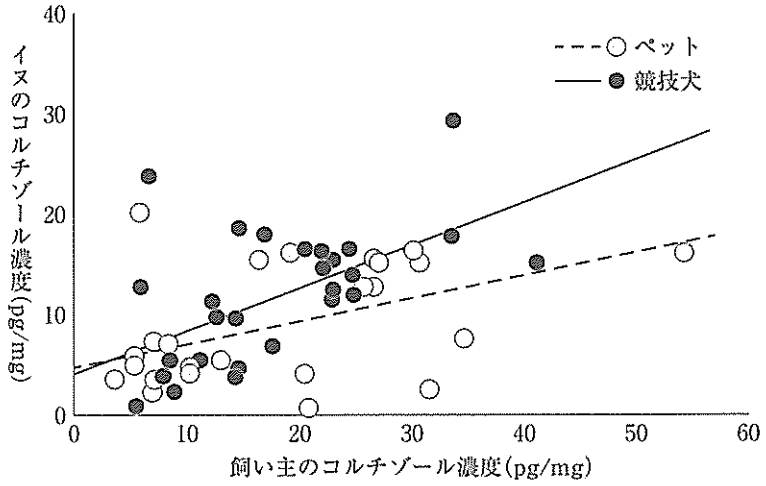
図1　実験条件ごとの平均コルチゾール濃度の変化



(Polheber, J. P., & Matchock, R. L. (2014). The presence of a dog attenuates cortisol and heart rate in the Trier Social Stress Test compared to human friends. *Journal of Behavioral Medicine, 37*, pp. 860-867. を元に作図。)

上記の実験のように，短期的なストレス状況においてイヌの存在が人のストレスに与える影響を検討した実験的研究だけでなく，イヌとその飼い主のストレスの関係を調べた研究もある。この研究では，58 組のイヌとその飼い主(全員女性)のペアを対象に，それぞれのコルチゾールの濃度(イヌの毛と飼い主の毛髪)を測定している。季節の違いによってコルチゾール濃度が変化するため，測定は夏と冬の 2 回行った。図 2 は，夏期におけるイヌとその飼い主のコルチゾール濃度の関係を表した散布図である。ペットとして飼われているイヌの中には，競技会に出るための訓練を受けている競技犬もいる。競技のための訓練経験はコルチゾール濃度に影響を与える可能性があるため，ペットとしてのみ飼われているイヌと，訓練も受けている競技犬とを区別して結果を示している。また，図中の直線は，できるだけ多くのデータポイントに近い位置を通るように引かれており，データの平均的な動きを表している。

図 2　イヌとその飼い主のコルチゾール濃度の散布図(夏期サンプル)



(Sundman, A. S., Van Poucke, E., Svensson Holm, A. C., Faresjö, Å., Theodorsson, E., Jensen, P., & Roth, L. S. (2019). Long-term stress levels are synchronized in dogs and their owners. *Scientific Reports*, *9*(1), 7391. を元に作図。)

問 1　友人条件，イヌ条件それぞれの平均コルチゾール濃度は対照実験条件の何倍になるか計算しなさい(小数点以下 2 桁まで記すこと)。(配点各 10 点)

問 2　図 1 から読み取れる事実について 100 字以内でまとめなさい。(配点 20 点)

問 3　図 2 から読み取れる事実と，この結果が生じる要因についてどのような理由が考えられるか，150 字以内でまとめなさい。(配点 40 点)

Ⅲ 次の文章は，人間が家畜から乳を獲得する技術（搾乳）の歴史的意義について述べたものである。これを読んで，設問に答えなさい。（配点 100 点）

（谷泰『牧夫の誕生　羊・山羊の家畜化の開始とその展開』岩波書店，2010年，pp. 153-159より。改変あり。）

（注１）「と畜（屠畜）」とは，動物の命を奪って肉など'を利用することをいう。

（注２）西アジア地域では紀元前3100年ごろにシュメール人が文字を発明した。これ以降の時代は，文字情報によって歴史を知ることができるようになるため「歴史時代」と呼ばれる。一方筆者は，西アジアで羊・山羊の家畜化が開始されたのは文字の発明以前の時代（先史時代）のことと推定している。

（注３）E. ロット＝ファルク（田中克彦・糟谷啓介・林正寛訳）『シベリアの狩猟儀礼』弘文堂，1980年。

問１　下線部(1)について，この文章によれば，家畜の乳を利用することは人間の食生活にとってどのような意味をもったと言えるだろうか。50 字以内で述べなさい。(配点 20 点)

問２　筆者の説明によれば，下線部(2)の「パターン」の成立以後，残存する家畜の遺骨はどのような特徴を示すと考えられるだろうか。文章の記述を踏まえて，50 字以内で具体的に説明しなさい。(配点 20 点)

問３　下線部(3)とは具体的にどのような「食倫理」であり，そして，それはなぜ「乳利用の可能性を前提」として成立したのだろうか。文章全体をよく読んで，150 字以内で述べなさい。(配点 60 点)

Ⅳ　Ⅰ Ⅱ Ⅲ に共通して読み取れる課題を踏まえ，各文章の論点を整理した上で，社会における人間と動物の関係について，あなたの考えを 500 字以内で記しなさい。(配点 120 点)